

入野小学校 校長室だより

2015.7.3(金) No.13 文責：芝

初めてマルになる

7月になりました。通勤中に聞いていたラジオのアナウンサーが「今年も折り返し」と言っていました。なるほど、2015(平成27)年「ひつじ」の年も半分が過ぎたことになりましたね。早いものです。

7月1日(水)、「読書まつり」がありました。図書委員の子どもたちが準備や運営をしてくれ、4名の読み聞かせボランティアさんも参加して下さい、有意義で楽しい時間を過ごすことができました。

下の写真は「大きなかぶ」のペープサート。みんなが知っている有名なお話です。最後に一番身体が小さいネズミが加わって大きなかぶが抜けるというところがいいですね。長く読み親しまれるお話には、何か心に響くポイントがあるものだと思います。

この他にも図書委員さんによる地震に関する紙芝居(スクリーン投影)、たくさん本を読んだ人の表彰、読み聞かせボランティアさんによる語りなど、バラエティーに富んだ内容が嬉しかったです。

入野小学校には、子どもたちが本に親しむようになるための取組・システムがいくつもあると思います。私にも読書が好き(嫌いじゃない程度ですが)になった物語があり、今回の「読書祭り」の最後に子どもたちに話し



たことでした。私の場合は「十五少年漂流記」を読んで、そのおもしろさに夢中になったのがきっかけです。父が買ってくれた本でした。それから50年以上たちますが、今でも大事に持っています。

もう15年くらい前になりますか、その頃に勤務していた小学校で、

「僕、今度の通知表で、初めて読書を頑張ったにマルが付けれる。」

と、言った子がいました。その学校では自分が自分を評価する通知表(先生が付ける通知表とは別に)があったのですが、その中の「読書のがんばり」への評価について話してくれたことでした。ちょうど「ハリー・ポッターシリーズ」が学校の図書室に入りだした時で、読書好きでないと自覚していた彼を夢中にしたのが「ハリー・ポッターと賢者の石」でした。「マルが付けれる」と言った頃の彼の、少しの時間でも机の中から本を引っ張り出して読んでいた姿を思い出します。

そういう本に出会えたというのは、考えてみると幸せなことですね。

皆さんは、いかがですか。

シャッターチャンスですよ

「校長先生、シャッターチャンスですよー。」と、呼ばれて駆けつけたのが下の写真。1年生が行進の練習をしていました。可愛く頑張る様子を写しきれなかったのが残念! 行進だけでもこのくらいの年齢の子どもたちにはドラマがいっぱい生まれます。色々な経験を遅く優しく育ててください。

